

ステンレス素材について

ヘアライン仕上げのステンレス素材はその美しさの反面、傷が目立ちやすいという特徴がありますが、使用上はまったく問題はありません。

■使用上の注意

- ・ ステンレスは鉄と比べて、強度が高く錆びにくい性質を持っていますが、表面は傷がつきやすいので、取扱いには注意して下さい。
- ・ ステンレスは素地のまま（塗装無し）で使用しますので、清掃の際には下記の手入れ方法を守って使用してください。
- ・ 濡れた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが発生（もらいサビ）することがあります。
- ・ 鉄やアルミ等の異種金属製品と接触させたまま長期間放置すると、サビの原因となるのでご注意ください。

■手入れ方法

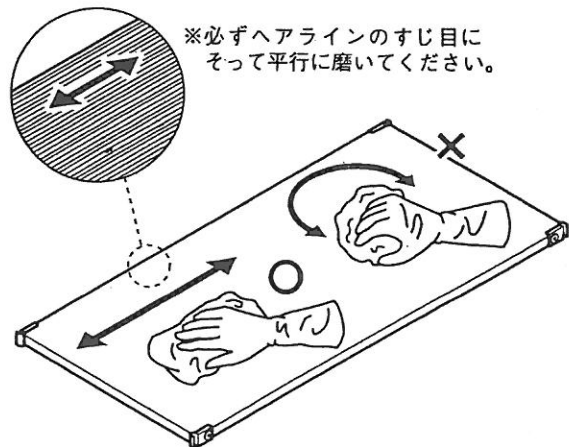
① 汚れた場合

- ・ ぬれた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いて下さい。
- ・ こびりついた汚れの場合は市販されているステンレス専用クリーナー等を購入して、お手入れを行なってください。

② ステンレス棚板の上手な磨き方

- ・ ヘアライン加工のすじ目にそって平行に磨いてください。
目に逆らったり、部分的にこすったりすると、汚れも落ちにくく、ヘアラインを崩すことになります。

※金属たわしやナイロンたわしなどは傷がつくので使わないでください。



※上図はステンレスユニットシェルフ・ステンレス棚板ですが、他の製品も同様に行なってください。